

「宇宙のお魚教室」盛況

さかなクントークに200人

明 石

明石市の「明石たこ大使」を務めるさかなクン(東京海洋大客員准教授)と市立天文科学館が連携して明石タコや宇宙の魅力を紹介する「さかなクンのギョギョっとビックリ! 宇宙のお魚教室」が8日夜、明石市人丸町の同館プラネタリウムドームで開かれ、応募者約3000人から選ばれた親子200人がトークを楽しんだ。



こどもたこ大使養成講座を受講した子どもたちに認定証を手渡したさかなクン
—明石市立天文科学館で

さかなクンは、自身がタコをきっかけに海の生物に興味を抱いたことや明石で体験したことや明石で体験したタコ漁、アフリカのセネガルで日本から贈られたタコつぼを使って資源保護に取り組んでいることなどを説明した。

また、同館の井上毅学芸係長はプラネタリウムの映像に合わせて、明石地方などで「鯛釣り星」と呼ばれている

さそり座や、タコつぼを引っかける道具「すまる」の名前があるすばる(プレアデス星団)など、宇宙と魚に関する話を紹介。さかなクンも熱心に聴き入っていた。同館のヒーロー「シゴセンジャー」も登場し、子どもによる質問コーナーや、こどもたこ大使養成講座の認定証授与式もあった。

【駒崎秀樹】

さかなクンは「明石でタコの魅力をたくさんいただき、宇宙の話も聞けて、ますます明石が大好きになりました」と感想を語った。